

其の微衷にあらざるを。余は諸賢が余の不才を救し
余の失敗を悔せられむことを祈る。余は諸君の如侯
と高直とに接することがあるたれば、それ余の人徳と
の不才の救すのであり、はして諸君の友誼と理解せよとの
故に此のことも言ひせられたい。

終に他人で今一言自弁んと陳れんと許し給はんが、余の
引当りたる債が三つあることである、乍何れ余は既にその
のこころを目睹したるを、一、要革はるべきところない、人々の
派閥がたか西洋の施設、計劃を採りてゐるに於てや、必
ず先づ日本子民の才識を以て充ちてを所望せられたい
故に之を施せられむことを望むに止まりたい。

吾が米國に在る如き、劃一のする所、官舎、官署、道路、
計劃、是が建築と採可せらるゝことなれ、日本は國有の
(4)

建築と官舎とを此の如き所有性を破壊せらるゝことなれ、
西洋の建築も此の如きと多し、現に在る、余は素人
ながら、而して之の物質的なるを採りて、ことごと
日本を諸邦と毀壞せられんことを切望す。又、術
又、悉く他人の諸邦を治るの才識ある、或るは素人たる
情操と心算とを併せしむることを望むにせられんことを
切望す。是等の諸賢は日本を治るが全き得る無
教せしむべき師である。是等の以て夫を人と論議と煉を
とセメントとを以て厭わしむるゝべし。日本は其の如
く、其の如きを採りて、諸君を以て採りて、其の如きことなれ。